

# 命の尊さを考える学習の在り方

## ～豊かな心を育む指導の中で～

### 目標・ねらい

- 命を大切にできる心情を育てる。
- 相手の立場を理解し、思いやりの心で接する態度を養う。
- 地域でのボランティア活動に参加し、実践的態度を養う。

教育課程上の位置づけ  
全教科・全領域

### 事前指導・経緯

#### 実態・意識調査

- ・生活アンケート
- ・命に関する意識実態調査  
**資料1**

#### 学級活動

「命の尊さを考える」全1時間

父からの手紙	息子へ
--------	-----

末期ガンに 冒されながらも、一生懸命生きている父の姿を知ること「命の輝き」を実感し、精一杯生きようとする息子の姿を通し、命の尊さを学ぶ。

#### 全校集会

- ・交通安全の話から、危険回避能力を育成する。
- ・戦争の悲惨さを伝え、命の尊さを考えさせる。
- ・生命に関わる犯罪の事例を通して考えさせる。

#### 広報活動

- ・地域フォーラムで、安全について協力依頼
- ・学校評議員会での依頼・青少年健全育成会議での協力依頼

#### 保護者への周知

- ・学校だより
- ・「命を大切にするキャンペーン」の内容を周知する。
- ・家庭での話し合いや指導を依頼する。

### 道徳授業

「命の尊さを考える」全6時間  
**資料2**

	絆（ビデオ視聴）
	種をまく子供たち (読み聞かせ)
	こども病院からのメッセージ
	日航機墜落事故
	100万回生きた猫
	たった一つのたからもの



### 他教科と連携

教・領	内 容
総合	福祉, 栽培
理科	人体, 生殖
社会	戦争と平和
保体	二次性徴
家庭	家庭の役割, 健康
国語	命との対話, 平和
特活	学級活動 生徒会活動 ボランティア活動

## 実施内容

- ・「命の尊さを考える」指導は、全教科、全領域で実践する。
- ・道徳教育の全体計画での位置づけ

「命の尊さを考える」学習10時間

### 道徳授業

生の有限性や生きる輝きを実感させる。  
生と死の意味や命の尊厳性を実感させる。  
今、健康に生きていることの幸せを感じ、自分のこれからの生き方をより良いものにしていこうとする意欲を持たせる。  
心の痛みがわかる人に近づかせる。  
自他の生命の尊さについて考えさせる。  
命の長さではなく、たくましく、一生懸命生きることの大切さを考えさせる。

### 短学活

阪神大震災で亡くなった中学3年生の話  
「命の尊さを考える」学習の評価

### 保健体育

命の神秘性や連続性について意識を高める。学級活動  
「命の輝き」を実感する。

関係機関との連携  
地域フォーラム  
学校評議員  
青少年健全育成会議

## 事後指導

### 授業後の指導

意識の変容についての意識調査をする。  
思いの変化を知るための作文を書く。

### アンケート調査

・事前事後のアンケート調査により、意識の変容を確認する。



### 資料3

### 作文

・道徳授業後及び全学習終了後に作文を書かせ、思いの変容を確認する。

### 広報活動

地域の教育力を高める

- ・地域フォーラムへの協力依頼
- ・学校評議員に、「命の尊さ」学習の在り方を諮問
- ・青少年健全育成会議で、各種団体への協力依頼

### 保護者への周知

学校だより

- ・「命の尊さ」について、家庭での話し合いを依頼する。

## 取組の評価

～生徒の作文より～

最初は、命についてじっくり考えたことなどなかったけれど、いろいろな事実や具体的な話を聞いて、自分なりにしっかりと考えることができた。

健康で生きていられることのありがたさを感じた。今なら、もし何かあっても、冷静に自分のことを見つめることができるような気がする。一つしかない命、自分の命も他人の命ももっと大切にしていきたい。 等々

資料 4

作文からもわかるように、「命の尊さ」に対する生徒たちの意識は予想以上に高めることができた。今後は、他人への思いやりが行動化できるように継続的に指導していく。

資料1 生活アンケートを実施して

授業前に行ったアンケート調査の結果 調査人数 = 33名

- 1 あなたは死について考えたことがありますか ある...20 ない...12 わからない...1
- 2 それはいつ頃ですか 小学生の頃...7 中一...4 いつも...1 身近な人が亡くなったとき...1  
わからない...7
- 3 身近な人の死を経験したことがありますか ある...20 ない...13
- 4 そのときの思いは 悲しい...12 わからない...3 人はなぜ死ぬのか...2 つらい...1  
複雑...1 秘密...1
- 5 飼っていた動物や生き物が死んだときの思いを書いてください 悲しい...10 むなしい...3  
申し訳ない...2 かわいそう...2 生き返って欲しい...1 複雑...1 寂しい...1 悔しい...1  
何も思わない...1
- 6 死んだらどうなると思いますか 天国へ行く...10 わからない...9 天国か地獄へ行く...4  
生まれ変わる...2 生き返る...2 どこかに行く...1 上に行く...1 埋められる...1  
人と会えなくなる...1 楽になる...1 どうにもならない...1 残留死念体になる...1
- 7 死んでも生き返ると思いますか 生き返らない...13 生き返る...8 わからない...7  
生まれ変わる...2 心の中で生きている...1 生き返らず霊として出る...1 無回答...1
- 8 大切な人があと少しの命だとしたら、何をしたいですか。  
その人がして欲しいと思うことをしてあげたい その人の好きなことを一緒にしてあげる  
ずうっと一緒にいる 最後が一番の思い出を作ってあげる やりたいことをさせてあげる  
いつもより優しくしてあげる いっぱい愛していっぱい一緒に泣いてあげる  
なんとか助かる方法を見つけ出す その人のために尽くす ちゃんと天国に行くことを願う  
自分が伝えたいことをすべて話し「ありがとう」を言う 最後まであきらめず手を尽くす  
いつも通りにする 自分ができる精一杯のことをしてあげる 励ます
- 9 自分の命がわずかだとしたら、あなたは何をしますか。  
やりたいことをしたい 自分のお金を全部使って好きなものを食べる 今まで通り過ごす  
できる限りのことをする パニックになる 生きられる1日1日を大切にす わからない  
「いままでありがとう」とみんなに挨拶する 今一番したいことを存分にす好きな人に告白する  
みんなにそばにいて欲しい 家族と過ごしたい なんとか助かる方法はないか探す 泣く  
家族や友達に優しくする 悔いを残さないように無駄な時間をなくす 死んだらどうなるか考える  
楽しい思い出をいっぱい作る 家族に感謝する そのときを大切にす  
みんなのためになることをする みんなが覚えていてくれるように記録に残す
- 10 殺人事件が毎日のように報じられています、それらのニュースを聞いてあなたは どう思いますか。  
なぜこんな事をするのかわからない 二度と起こってほしくない ほんとうにいやだ 悲しい

資料 2

「命の尊さを考える教育」の学習の流れ

全 10 時間扱い

生徒の意識	学習の流れ	
<p>これまでの経験を基に生と死について考えようとする。 生命の不思議について理解する。</p>	<p>短学活 アンケート実施 「生や死」について意識調査を行い焦点化する。</p>	<p>保健体育 1時間 心身の機能の発達と心の健康、生殖器の発達や月経・射精・妊娠などのしくみなどについて理解させ、命の神秘性や連続性について意識を高める。</p>
<p>ガンと闘いながら生きることについて真剣に取り組んでいる人がいることを知り身近にある生や死に対して認識を深めていこうとする。</p>	<p>道徳 1時間(ビデオ視聴) - 絆 - 「生きることについて考えを深めよう」 ガンと闘いながら生活する人の姿(病と闘いながらも自分なりの目標を持って一生懸命生き、人生を終えた人の姿や亡くなった家族の思い)から、生の有限性や生きる輝きを実感させる。</p>	
<p>いろいろな病気と闘いながらも前向きに生きようとする姿や子供を病気で亡くした親の気持ちを受け止め生や死の意味を考えていこうとする。</p>	<p>道徳 1時間(読み聞かせ) 種をまく子供たち 小児ガンに冒され、病気と闘いながらも懸命に生きる子供たち。またその家族の姿を通して家族愛のすばらしさを感じ、その子供たちのメッセージを聞くことで、生と死の意味や命の尊厳性を実感させる。</p>	
<p>阪神大震災から9年。突然襲う自然の驚異を忘れないように。</p>	<p>短学活 学級通信掲載(読み聞かせ) 「恵子さんはペンを握っていた」 阪神大震災で亡くなった中学三年生の話</p>	
<p>他の人の生き方について感動と驚きを持って受け止めると共に、手紙を書くことで自分の思いをまとめ、思いを伝えることの大切さについて考える。 生徒たちの思いを伝えたくて角川書店編集部を通して由貴菜さんのお母さんに手紙を出しました。 お母さんから返事をいただきました。</p>	<p>道徳 1時間 角川書店 こども病院からのメッセージ 「電池が切れるまで」5歳の時神経芽細胞種と診断され11歳で亡くなった宮越由貴奈さんの詩「命」を読み、由貴奈さんの思いを感じることで、今健康に生きていることの幸せ、自分のこれからの生き方をよりよいものにしていこうとする意欲を持つことができる。さらに由貴奈さんや由貴奈さんのお母さんへの手紙を書くことで自分の思いをまとめる。</p>	
<p>病に向き合い一生懸命に生きていこうとする人間の崇高な輝きを実感として受け止め、自分の生き方と重ねて生きる意欲を高めようとする。</p>	<p>学級活動 1時間 父からの手紙 - 息子へ - 末期ガンに冒されながらも、自分の死に向かい、目標と意欲を持ち、自分の道を自分らしく一生懸命生きている父の姿を知ること、自分の生き方と重ね合わせながら「命の輝き」を実感し、自分の可能性を発揮して精一杯生きようとする意欲を高めさせる。 「病院で死ぬということ」 文春文庫 山崎章郎 より</p>	
<p>突然起こった悲劇の大事故。現在の飛行機の安全の陰にはこのような大きな犠牲があった事を知る事で、日々当たり前だと思っている事への感謝の気持ちを持つことができる。 事故で亡くなった人の無念の気持ちや家族の思いを感じることができる。</p>	<p>道徳 1時間 日航機墜落事故 1985年8月12日に起こった日本航空墜落事故でなくなった何人かの最後の遺書を読むことで、突然訪れた死への恐怖、悲惨さ。残された遺族の悲しみを知り、もし自分がその立場であったらを考えることで人の心の痛みがわかる人に近づかせたい。 「おすたかりくりえむ」 毎日新聞社 「墜落遺体」 講談社 飯塚 訓 「墜落現場」 講談社 飯塚 訓 「沈まない太陽」 新潮社 山崎 豊子</p>	
<p>生徒たちを取り巻く社会環境や生活環境がずいぶん変化し、自然や人間とかわる機会も希薄なものとなり、大好きなテレビゲームの中では何度でも命がよみがえる。しかし、実際の命には有限性がある。この絵本を通じて改めて生命の神秘や生き方について考えることができる。</p>	<p>道徳 1時間 100万回生きたねこ 講談社 100万回も死んで100万回も生きたねこですが一回も泣いたことがないし、一度も人を好きにならなかったことがありませんでした。しかし、白いねこ出会い初めて自分以外のものを好きになり、初めて泣き、そして最後は決して生き返りませんでした。改めて自他の生命の尊さについて考えさせたい。</p>	
<p>「命」とは何なのか。「生きる」とはどういうことなのか。命の尊さを感じないままに、毎日を当たり前に生きている。生きているすばらしさを実感しないまま毎日を過ごしている。余命を宣告された子どもと母親、父親の様子を通して、命の尊さについて考えることができる。</p>	<p>道徳 1時間 たった一つのたからもの 息子・秋雪との六年 文藝春秋 「人の幸せは、命の長さではないのです」今の命を精一杯。 病気の人に限らず、すべての人間に言えること。 この本は、明治生命のCMでも話題になった、家族の六年間の記録です秋雪君の六年間が105枚の写真と文章でつづられています。 たくましく一生懸命生きる秋雪君の姿に感動することで今を大切に、一生懸命生きることの大切さを考えさせたい。</p>	
<p>学習したことを基に、自分の生き方について考えたこと、以前と変化したことを確認する。</p>	<p>短学活 今の自分の中にある思い・・・ はじめの頃と今の自分の中にある死への考え方で変化したことはありますか...比較検証するため作文する。</p>	

### 資料3 - 1 教材例「命」の詩

## 命

宮越 由貴奈

命はとても大切だ  
人間が生きるための電池みたいだ  
でも電池はいつか切れる  
命もいつかはなくなる  
電池はすぐにとりかえられるけど  
命はそう簡単にはとりかえられない  
何年も何年も  
月日がたつてやつと  
神様から与えられるものだ  
命がないと人間は生きられない  
でも  
「命なんかいらない。」  
と言って  
命をむだにする人もいる  
まだたくさん命がつかえるのに  
そんな人を見ると悲しくなる  
命は休むことなく働いているのに  
だから 私は命が疲れたと言うまで  
せいっぱい生きよう

五歳の時、神経芽細胞腫と診断され  
十一歳で亡くなる。  
「電池が切れるまで」 角川書店より

### 資料3 - 2 児童から「命」の作者及び母親にあてた手紙

#### 由貴奈ちゃんへ

私は、この詩を読んで「私も精一杯生きなきゃいけないなあー」と思いました。私は「死にたい！」って思ったことが何回もあるケド、こうやって病気に負けずに頑張ってる生きていた子の詩や文を見たり、聞いたりして命って大切なんだな、死にたいなんて思っちゃイケナイなと思います。私はこの夏休みにずっと飼っていた犬が死んでしまいました。その時は「生き返ってほしい」とばかりずっと思っていたけど、今じっくり考えてみて、「頑張ってる生きていたんだなあ。ありがたう」と思えるようになりました。こういう経験をしたのは初めてだったけど、すごい成長した・・・というか、考えが変わったかと思いました。その犬は最後はしっぽを振りながら死んでいって、いい人生だったのかな、よかったな。と思えるようになりました。だから私も、死んでもいい人生だったな。よかったな、と思える人生にしたいと思う。だから命をそまつに扱わないようにしようと思う。由貴奈ちゃんは11歳で亡くなってしまったケド、私たち元気な人よりこういうことがわかってえらいと思う。本当にこれからは、いい人生と思えるように精一杯生きようと思う。(M子)

#### 由貴奈ちゃんへ

こんにちは。由貴奈ちゃんが書いた詩の「命」を読みました。由貴奈ちゃん自身が命をどんなに大切にしているかよくわかりました。電池と命は違うよね。命には替わりがない。由貴奈ちゃんのその命は取り替えられないけれど11年間ずっと生き続けたね。すごいよ。私がどんなに頑張ってる生きてもあんな詩は絶対書けないよ。きっと由貴奈ちゃんだから書けたんだね。(中略)  
ねえ由貴奈ちゃん。お空がきれいだね。お日様があたたかいね。お星様は悲しみを消してくれるね。あなたにこの手紙が届くことを願います。(H子)

#### 由貴奈ちゃんのお母さんへ

こんにちは私は畑沢中1年のH子です。学校の道德の時間に由貴奈ちゃんの詩を読ませていただきました。お母様は大変悲しいことだと思います。今年はいろいろな事件がありました。きっと由貴奈ちゃんが知ったら怒るでしょうね。「命をムダにするなんて！」って。悲しみはいつか人の心に届きます。・・・ありがとうございました。(H子)

### 資料3 - 3 「命」の作者の母親から児童あての返信

#### 由貴奈ちゃんのお母さんより

(前略)先生がこんなにも由貴奈の詩を真剣に受け止めてくださり、授業にも使っていただいたことに心から感謝せずにはいられません。そして生徒さん達の本当に真剣な「命」のとりえ方に感心するやら、ほんの一言に感動するやらで、改めていろいろなことを考えさせられました。とっても嬉しかったです。今普通に生きていること、このことが当たり前ではない、とっても感謝しなければならぬことをほとんどの生徒さんが感じてくれてとても嬉しいです。  
ある生徒さんが健康な人とそうでない人の世界が違う、それは健康な人が分けている気がすると思いましたが、私はそれはこちらの方から近づいていかなければならぬことだと思っています。健康な世界にいた私たちが新たに知った世界だから、知らない人達に教えなければ解るはずはないのです。皆さんから由貴奈ちゃんへ手紙を書いていただいたこととそれに私にまで言葉をかけてくれたこと、皆さんの暖かい気持ち忘れずに頑張っていけますね。皆さんもこんな風に感動してくれたことをず～っと忘れずにすばらしい人生を送ってください。悔いのないように・・・。(後略)

## 資料4-1 授業終了後の生徒の感想

### ビデオ「絆」を見ての感想

私はすごく悲しかった。自分の家族がいきなり病気といわれて死んでしまったら本当に悲しい。でも、人はいつかは死んでしまう。私もいつかは死ぬ。そのときは、このビデオみたいに家族に見守られて死にたい。本当にたった一つの命だから大事にしないといけない。テレビなどで殺人や自殺などのニュースがやっていたりして、本当に悲しい。命というものをもっと考えなければならぬ。このビデオの家族は、助け合いながら生きて、最後はお父さんも家族も幸せだったと思う。お父さんは家族に見守られながら亡くなって、家族も精一杯見送れてよかったと思う。（K）

### こども病院からのメッセージを読んでの感想

「命」という詩を見て、まさか小学校四年生の子が、こんな詩を書いたなんて思いませんでした。由貴奈ちゃんは自分が病気というものを実感したから書けたんだと思います。この詩を見るだけでも由貴奈ちゃんが精一杯生きていたのが伝わるし、内容にはとても深い意味があるような気がします。私はこの詩を読んでさらに「命を絶対に粗末にしたい！」という気持ちが強くなりました。私は「命」という詩を読んで本当によかったと思いました。なぜかという、この詩を書いた由貴奈ちゃんから「生きる」という大切なことを学んだからです。由貴奈ちゃんのお母さん、こんな心の広い子がいてくれてよかったですね。由貴奈ちゃんの分も精一杯生きて下さい。私も、これからそれ以上に精一杯生きていきます。（Y）

### 日航機墜落事故関連の本を読んでの感想

私が「もう少しで死ぬ」といわれたら、最初に家族と友達に手紙を書きます。私がこの話を読んで体験していないのでよくわからなかったけど、死というものは、とても怖くて大変だということがよくわかりました。自分が死ぬ前は、時間を大切に一日一日を大事に過ごしたいと思っています。自分の知っている人などがもし死ぬ前だったら、ずっと近くにいてあげたいです。これからも、いじめをする人や、いやなことをやる人がいなくなるように、やっている人がいたら注意してやめさせます。この話を読んで、さらに命の大切さがわかりました。自分でも命を大切に、一日一日を大事に過ごしていきます。だから、まわりの人も注意したいと思っています。（K）

### 父からの手紙「息子へ」を読んで

このお父さんは息子にしか手紙を書いていなかったけど、本当はお父さんにとって「大切な人」はもっといたはずだから、もっとたくさんの人に書きたかったと思う。でも、逆に息子に対してよくこんなに長い手紙を書いたなあと私からみてそう思う。私みたいに他人がこの手紙をみたら長い文章に見えるかもしれないけれど、お父さんにとっては、まだまだ書き足りないほどだと思う。この手紙を読んで、息子、家族への思いや、どれだけ幸せに過ごしていたかというのがすごく伝わってきて、泣きそうになった。もし、私がこの立場だったら「大切な人」への手紙は死ぬまで書き終わらないかもしれない。なぜかというそれは、書ききれないほどたくさんの思い出、幸せだったことがあるから...。書かれた方も、見た瞬間にどれだけ幸せだったことに気付くと思う。私は犠牲になる人がいたからたくさんのお話を学べたと感じた。これからも真剣に命について考えたい。（T）

## 資料4-2 「命の尊さを考える教育」の学習に取り組んでの感想

### 授業を終えて、はじめの頃の考えと今の考え方で変化したことはありますか。

今まで人に平気で「死ぬ」とか言っていたけど、言わなくなった。命は大切にという気持ちが高まった。（I夫）  
死とか命とか自分には関係ない...と思っていた。今はすごく大切なことで、もっとしっかり考えなくてはならないことだと感じている。（N子）

私の中では「宮越由貴奈さんの詩」と「父が息子に宛てた手紙」が一番心に残っています。皆それぞれ死ぬのが怖い人。「平気だよ」と言っている人などいろいろいますが、どの人にも共通しているのは「生きることの尊さ」だと思います。今までも考えたことはありますが、いろいろな話を聞いてもっともって命について深く考えるようになりました。（S子）

絆のビデオを見てから体がうまく動かない人などを見ても差別したり、変な目で見るとはやめようという気持ちになったし、実際にそうしている。（A夫）

僕は、はじめの頃は死というものをあまり考えませんでした。授業を受けてからは、誰かの死は誰かの人生や生活を大きく左右するということになりました。そして、生きているということがどんなことなのかわかりました。元気なことがどんなによいことなのか、安全なことがどんなによいことか初めてわかりました。（S夫）  
健康で生きていられることのありがたさを感じた。今ならもしも何かあっても、冷静に自分のことを見つめる事ができるような気がする。一つしかない命...自分の命も他の命も...もっとしっかりと考えたい。（S子）